

座・ガモールファーム 通信

Vol. 15 | 2024.03.01



につぼんの宝物JAPANグランプリ2023-2024 授賞式の様子。

キャンパス農園班がJAPANグランプリで特別賞受賞。

萌芽の候

草木の新芽が生える頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

座・ガモールファームの中で学生主体の「キャンパス農園班」が、につぼんの宝物グランプリJAPANグランプリ2023-2024新領域部門でローカルコミュニティ賞を受賞しました。

先月号では、東京としま部門において審査員特別賞を受賞したことを報じましたが、それに引き続

きJAPANグランプリでは大学で収穫、製作した物品を紹介しつつ活動を紹介しました。

本大会では、「学内のデッドスペースの活用」「江戸東京野菜の魅力を伝える」「コミュニティづくり」という取り組みが評価され受賞に至りました。

JAPANグランプリ
の様子



また、座・ガモールファームは2月20日から3日間行われたグリーンインフラ産業展2024においてポスター展示を行いました(以下写真)。(小池)



※本ニュースレターは、JST「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点活動の一環として発行しています。座・ガモールファーム通信のバックナンバーを含むプロジェクトの概要は右のQRコードからご覧ください。



今月の活動

キャンパス農園班

みなさんこんにちは、キャンパス農園班の藤原です。もう3月になってしまいましたが皆様はいかがお過ごしでしょうか？学生の方は春休みを満喫しているといいですね！

農園班は2月につぼんの宝物の全国大会に出場してきました！ほとんどの参加者が商品を持つ企業の中、自分たちのような大学生かつ他の参加者のような商品が無くアピールの仕方が難しい、他の授業と並行して進めなければいけないなど、様々な課題がありましたが、それらを乗り越え全国大会にまでたどり着くことができました！参加したメンバーの努力は本当に素晴らしいものでした。

結果としては、我々は新領域部門にて「ローカルコミュニティ賞」を受賞することができました！これまで農園班ではこういったイベントや大会に出場することもなかったので農園班史上初の快挙と言っても過言ではないでしょう！これも活動を応援してくれる職員さんや皆様のおかげであります。本当にありがとうございました！また次回出場する事があれば、次のメンバーには更なる躍進を期待しています！

なんだかんだでこの通信も自分が書き始めてからもう1年が経とうとしています。手に取り読んでくださった皆様にどういった影響を与えられたかが非常に気になります。もっとこうすればよかった、と思うこともたくさんありますが精一杯書くことができました。この通信をきっかけに、農園班の活動を知ったという人を少しでも増やしていれば本望です。

ご愛読ありがとうございました！（藤原）



座・ガモールファーム



去年仕込んだ味噌しっかりできていました！

今年度もあっという間に最後になりました。4年生の皆さんは卒業おめでとうございます！大学に遊びに来るときはぜひガモールファームにも立ち寄ってくださいね。3月になると少しずつ暖かい日が増えてきますが、農園でなの花が咲いている様子などを見ると大学の季節を彩る役目も果たしてくれているようで少しうれしくなります。

さて、ガモールファームでは年度最後のイベントとして毎年「味噌づくり」を行っています。また、同時に去年の味噌を開ける作業もするのですが、これが毎年の楽しみの一つです。今年開けた味噌はキャンパス農園班の活動で参加したつぼんの宝物グランプリの試食で使われるなど大活躍でした。さらに、今年は何と日本農林社様から発芽時期を逃して売れなくなった枝豆を20キロもいただくことができました。種としては使えませんが、味噌づくり用の大豆としてはしっかり使うことができます。日にちも決まりましたので、もし今年の味噌づくりに参加したいという方がいれば、私の方まで連絡をお願いします。

テラスではスナップエンドウも育ってきています。今年は2月上旬になんと伸びた芽が鳥に食べられてしまったのですが、さすがの生命力で復活してきました。上手くいけば5月あたりから収穫ができると思うので楽しみにしててください。（山本）

詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見るができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、X（旧Twitter）ではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

